

### 環境調査結果のお知らせ

令和7年6月12日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

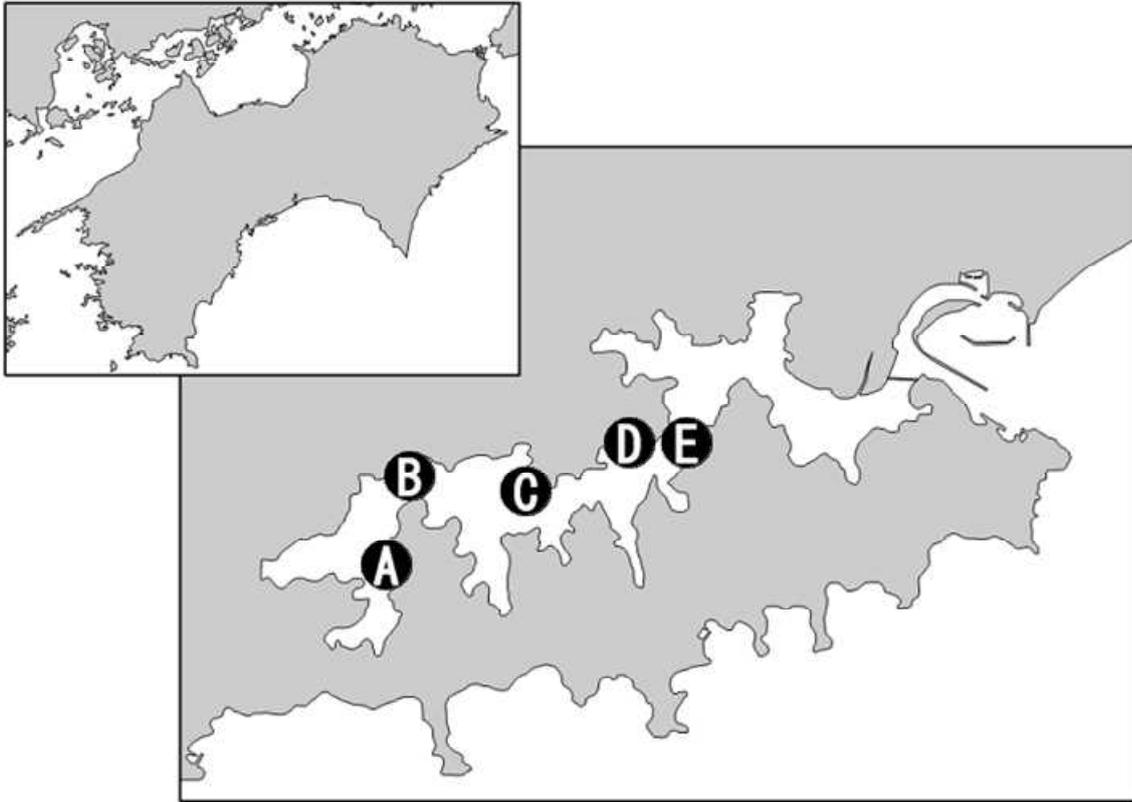
#### 概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で5,500 cells/mL、ディクチオカ属が最高で2,350 cells/mL、ケラチウム属が最高で54 cells/mL確認されました。ヘテロシグマ・アカシオは50,000 cells/mL以上、ディクチオカ属は5,000 cells/mL以上で養殖魚へい死のおそれがあり、ケラチウム属は100 cells/mL以上で、養殖魚の餌食い悪化が懸念されます。

また、すべての調査点において底層が、鳴無では底層に加えて5m層が、中学校前では底層に加えて10m層がそれぞれ貧酸素状態になっていますので注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ヘテロシグマ・ アカシオ	ディクチオカ 属	ケラチウム 属	珪藻
A 鳴無 (1.7m) 【09:25】	0	23.1	8.5	12.5	5,500	11	4	-
	2	24.9	30.2	11.9	40	240	54	-
	5	23.2	31.1	2.6	0	2,350	45	-
	底層	8	22.5	31.4	1.1	0	3	0
B 中学校前 (1.7m) 【09:32】	0	22.8	10.9	13.5	950	70	15	37,200
	2	24.7	30.4	9.7	0	70	33	12,000
	5	22.9	31.1	5.5	0	350	19	1,750
	10	22.3	31.5	2.7	0	81	29	120
底層	11	22.2	31.5	1.3	0	44	4	200
C 目ノクソ (1.7m) 【09:41】	0	23.0	9.2	12.5	480	0	0	-
	2	24.3	30.0	10.4	60	25	24	-
	5	22.9	31.1	5.8	0	51	14	-
	10	22.3	31.5	4.4	0	0	0	-
底層	14.5	22.2	31.8	2.5	0	0	0	-
D 光松 (2.3m) 【09:56】	0	23.2	20.0	12.0	900	1	3	36,800
	2	23.0	29.2	8.3	0	0	4	23,800
	5	23.0	31.0	5.8	0	0	13	1,800
	10	22.5	31.6	4.4	0	0	5	140
底層	16	22.0	32.0	0.8	0	0	0	240
E 大鹿 (2.2m) 【10:03】	0	23.1	19.7	12.5	650	1	2	-
	2	22.9	29.1	8.7	0	0	4	-
	5	23.0	30.9	6.0	0	2	9	-
	10	22.6	31.6	4.4	0	0	6	-
底層	15.5	21.9	32.0	0.7	0	0	0	-



- A: 鳴無                      D: 光松  
 B: 中学校前                E: 大鹿  
 C: 目ノクソ

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Ceratium</i> spp. (ケラチウム属)	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—			
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。